平成20年12月5日

久留米大学法学部同窓会
会長 折戸 謙介 殿

学校法人久留米大学
理事長 前川 博
学長 薬師寺 道明

理
事
長
印

学
長
印

法学部同窓会に対する本学の基本方針について

先般、本学は委託徴収金請求事件（原告：旧同窓会、被告：学校法人久留米大学）を和解により終結させました（平成20年10月30日）。

これまで貴同窓会から2度に渡り、上記事件について和解に応じるべきではないとの要請文をいただきました。本学は貴同窓会の立場を十分すぎるほど理解しておりますが、誠に遺憾ながら、諸般の事情を考慮して和解の道を選択しました。大学内部でも、和解に応じないで裁判（判決）で決着をつけるべきだとの有力な主張があったことから、和解による解決は、本学にとって苦渋の選択であったことをご理解いただけるものと存じます。

しかし和解に応じたからといって、本学が法廷で展開してきた主張が決して間違っていたと判断したわけではありません。本学の主張は常識的にも妥当な内容であったという考えは少しも変わりません。したがって、本学の法学部同窓会に係る決定（平成18年2月理事会）も変更する意思はありません。

すなわち、本学と貴同窓会との連携・協力関係は、今回の旧同窓会との和解によって何も変わることはありません。

以上の点につきましては、10月理事会で確認済みのことであり、本学の基本的な方針です。しかし、今回の「和解」が卒業生に種々の誤解を与えかねないことも考慮して、この機会に貴同窓会に対する本学の基本方針を下記のごとく明らかにしておきます。

これらの基本方針を再確認しておくことは、本学と貴同窓会の連帯関係を今後強化していく上でも、有意義であると考えます。

記

- (1) 法学部教授会が平成17年5月に貴同窓会を法学部のパートナーとして承認して以来、貴同窓会は本学が公認する唯一の法学部同窓会である。

- (2) 新入学生の入会金の委託徴収は、今後とも貴同窓会からの委託により継続して行う。
- (3) 現在、本学連合同窓会の推薦により、貴同窓会会員から2名の法人評議員を任命しているが、当該評議員には今後とも本学の大学運営に協力をしていただく。
- (4) 貴同窓会には学生の活動への援助を始め、多方面で本学の運営にご協力をいただいているが、こうした連携・協力関係は本学の発展のために今後ますます強化していく。

以 上